

住民(患者)視点を含めたメリット・デメリットの整理

資料5-2

① 病院の設置運営からの視点

区分	メリット	課題・デメリット
〔案1〕 ○ 新法人の運営に参画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新法人が新病院及び町立病院を一体的に運営することで、自律的・弾力的な運営が可能となり、経営の安定化や効率化が期待できる。 ○ 新法人が、新病院及び町立病院の医療従事者を一括して確保するため、医師をはじめとする医療従事者不足の緩和・解消につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新法人の一員となるため、町の意向を直接的に病院の運営に反映できなくなる。
〔案2〕 ○ 地域医療連携推進法人に参画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、町の意向を直接的に病院の運営に反映できる。 ○ 新病院・両町立病院が連携し医療従事者の人事交流を行うことを通じ、医師等不足する医療従事者を相互に補完することが期待できる。 ○ 資材の共同購入や人材育成等による経営の効率化が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病院の管理・運営を単独で行わなければならない、財政的・事務的負担が必要となる。
〔案3〕 ○ 現在の体制を維持	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、町の意向を直接的に病院の運営に反映できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病院の管理・運営を単独で行わなければならない、財政的・事務的負担が必要となる。 ○ 町立病院を設置・運営する町が、単独で医師をはじめとする医療従事者を確保する必要がある。

② 住民(患者)等からの視点

区分	メリット	課題・デメリット
〔案1〕 ○ 新法人の運営に参画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新病院と連携することで、より質の高い医療サービスを受けることができる。 ○ 新法人が、新病院及び町立病院の医療従事者を一括して確保するため、継続して医療サービスを受けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置主体の変更に対する住民の不安に対し、丁寧に説明を行う必要がある。
〔案2〕 ○ 地域医療連携推進法人に参画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置主体が変わらないため、住民の不安が少ない。 ○ 医療従事者の人事交流により、医師等不足する医療従事者を相互に補完することで、より安定的な医療提供体制の確保が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新病院との連携が緩やかであるため、新法人への参画に比べ、医療従事者の効率的な活用等による医療サービスの向上効果は小さい。
〔案3〕 ○ 現在の体制を維持	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置主体が変わらないため、住民の不安が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町単独での医療従事者の確保が困難となった場合、必要な医療提供に支障が生じる可能性がある。